



## 本年度の重点目標

「考えを分かりやすく伝えることができる子どもの育成」

## 授業再開

長かった夏休みも終わり、8月25日から授業が再開しました。25日の全校朝会では次のような話をしました。

(一部省略) みなさんは、高校野球を見ましたか？私は、試合も素晴らしかったと思いますが、その後のインタビューを見て心に残ったことがあります。今年は、たくさんの選手が「自分たちで考えてプレーしている」ということでした。監督さんやまわりの指導する方の指示を待つのではなく、どうしたらよい結果が出るのかについて自分が考えたことを伝え合いながら、よりよいプレーになるよう工夫をしていたということです。特に、今年107年ぶりに優勝した学校は、自分たちで考えて練習メニューも工夫していたそうです。すごいですね。

上妻小学校の目当ては、「考えを分かりやすく伝えることができる子ども」としてはいますが、そのためには自分の考えをしっかりと持たなければいけません。みなさんも、「どうすれば答えが出るのか」とか「どうすればもっとよい学級・学校になるのか」を自分たちで考えて、行動できるようになってほしいと思います。

これから、6年生は修学旅行、全校では10月に「スポーツフェスタ」、11月には「上妻まつり」があります。しっかり考え、考えたことをしっかり伝えることができるよう頑張ってください。

毎日、各教室を見ているのですが、学習のめあてに向かって学習している子、なかなか集中ができない子と様々のようです。先週は、朝の活動において全学年教育相談を行いました。子どもたちの気持ちに寄り添い、安心して登校できるよう指導・支援を行っていきたいと考えております。ご家庭におかれましても、何か心配な点がありましたら遠慮なくご相談ください。



## 南中学校1年生による読み語り

本年度も8月31日に中学1年生よる読み語りをしていただきました。

上妻小学校を卒業した生徒さんが来てくれて、1年生から6年生までの各学級で小学生に向けて絵本を読んでもらいました。小学生が喜ぶような絵本を選んだり、小学生が分かりやすいように読み方を何回も練習をしたりしてくれたそうです。今年の3月に卒業した子どもたちの成長した姿を見ることができ、とても嬉しく思いました。

また、小学生も「中学生が絵本を読んでくれてうれしかったです。」とか「自分も中学生になったら上手に読み語りができるようになりたいです。」というような感想を持ち、大変喜んでいました。このような取組は、小中連携をしていく上でも、とても良いことだと思います。次年度もぜひ読み語りをお願いできたらと思っています。南中学校の皆様、ありがとうございました。

## 学力向上の取り組み

### 1 わかる・できる授業づくり

全学級において「考えをわかりやすく伝えることができる子どもを育てる学習指導」をテーマに授業研究を行っています。「考えをわかりやすく伝えることができる」ようになるために、1単位時間の学習の流れの中で、自分の考えを書くことや、相手に伝えることを重点的に取り組んでいます。学習中に自分の考えをノートにきちんと書くことができるように、図の書き方や、考えのまとめ方などを指導しています。また、ノートに書いた考えを指し示しながら相手に伝える時間を確保し、友達と考えを伝え合いながら学習内容が理解できるようにしています。さらに、学習の終わりには「わ・が・と・も（わかったこと・がんばったこと・ともたちのよいところ・もっとがんばりたいこと）」の観点で振り返り、次の学習に生かしていくようにしています。



### 2 朝の活動（15分間）

本年度も学習の基礎・基本の定着を目指して朝の活動を行っています。9月は、主に文章読解と漢字と視写を中心に進めています。

朝の活動状況についてお知らせします。

なかよし	個人の状況に合わせ、個別の問題を頑張っています。最後まで取り組む姿がみられます。
1年	朝の活動を楽しみながら行っている子どもが多い。朝の活動の流れになれ、振り返りまでスムーズにできるようになりました。
2年	「めあてをたて、問題に取り組み、その後答え合わせをする」という一連の流れになれてきて、頑張って取り組むようになってきました。
3年	集中力がつき、文章問題も2問できるようになってきました。初見の文章については今後取り組んでいきます。
4年	正答率が上がってきました。無回答も減り、最後まで頑張って取り組むようになってきました。
5年	文章読解では、事実と筆者の考えを分けて考えるのが苦手のようなのですが、頑張って取り組むことができるようになってきました。
6年	文章読解では、3分が5分音読して解くようにしています。学年の3分の1くらいの子も達が本文から線を引いて答えに結びつけることができている。

### 3 家庭学習がんばり週間

9月に2回目の家庭学習がんばり週間がありました。各ご家庭におかれましてはチェック表の確認など、ご協力いただきありがとうございました。

すべてのチェック項目について、1回目比べると2回目の方が達成率が上がっていました。特に、宿題については全日できている子どもが増え、嬉しく思っています。家庭学習は、学校で学習したことを確実に身につけたり、自分から進んで学習に取り組んだりできるようになるために、とても必要なことだと考えます。小学生の時から家庭学習を定着させることで、中学校に進んでも自然に自分から家庭学習ができるようになるだろうと思っています。今後ともご協力をお願いします。